

全国人権保育研究集会に 参加して

1月30・31日に高知県で開催された全国人権保育研究集会に参加しました。

1日目の全体会では、高知県人権保育連絡協議会からの特別報告がありました。1984年に本協議会が結成されて以降、部落の子どもたちの健全な保育保障を築きあげるため、「差別の現実」に学び、しんどい子どもや保護者に寄り添う営みが続けてこられた経緯。その内容は、子どもの育ちを願う保育園と保護者の熱い思いが伝わってくるものでした。

続いて、臨床心理士の長谷川博一氏の「すべての個性が認められ、どの人も尊重されるために」と題した記念講演がありました。子どもたちが起こす数々の痛ましい事件や、親が子に対して行う虐待が増加していく今日、自分に価値を見いだせずに悩み苦しんでいる多くの人がいる。私たちの周りの大人は子どもたちにも「したことへの評価」でなく、失敗しても「上手にできなかったね、でもいいんだよ」といった、尊重で結ばれた関係を築くことが一番大切である。また、子どもたちは大切な人から、ありのままの姿が認められると「自尊心」を育み、自分を大切にすることができると述べられました。



▲体力づくりにも取り組んでいます
 (名和さくらの丘保育園)

2日目は「子どものからだ育て」の分科会に参加し、食べる意欲を育てる実践や、しなやかな心とからだ育てに向けての取り組みなどを3つの保育園の発表をもとに学んでいきました。

保護者の就労形態や大人中心の生活により基本的な生活習慣を確立することが難しく、また運動不足や体力の低下が子どもたちの現状の問題となっています。各年齢に合わせた環境設定をした中で楽しんで取り組める運動、活動。そして菜園活動やクッキング等を通して意欲や関心を育てる食育活動が体づくりの源になることを改めて強く感じました。

一人ひとりの子どもたちの健やかな成長のために、保育士としてすべきことや自分の役割を見つめ直し、今回学んだことを今後の保育に活かしたいと思えます。

(参加者)

参加者大募集!

写真でロゲイニング大会inなわ

(大山ツーリズム協議会主催)

ロゲイニングをご存知ですか?ひとことできうと、「オリエンテーリング」です。

制限時間内に、できるだけ多くのチェックポイントを回って得点を獲得します。チェックポイントでは証拠の写真撮影も忘れずに!高得点を狙ってガンガン走って回るのもいいし、勝負は二の次という方は、景色を眺めながらゆっくり歩いてもいいのです。チームやファミリーで春の名和エリアを巡れば、思わぬ発見があるかも知れません。参加賞もあります。

- ◆日時 4月2日(土) 9時受付開始
 制限時間: 3時間
 ※雨天決行・荒天中止
- ◆発着点 保健福祉センターなわ
- ◆参加費 1人500円、1ファミリー1,000円
 ※1チーム(2~5人まで)
 ※必ず20歳以上の方を1人含むこと
- ◆持ち物 デジタルカメラ(携帯電話のカメラ可)
 筆記用具、電卓、緊急連絡用携帯電話
 予備バッテリー・充電器、携行飲食物
- ◆服装 動きやすい服装・靴、雨天時は雨具
 (更衣室あり)
- ◆締切 3月28日(月) 17時まで
- ◆申込み・問い合わせ先
 大山ツーリズム協議会事務局
 (役場観光商工課内) ☎0859-53-3110
 メール: kankou@daisen.jp